

大東京火災海上保険株式会社(社長 瀬下 明)と千代田火災海上保険株式会社(社長 福田 耕治)の両社は2001年4月の合併に向け準備中ですが、リスクマネジメント分野の業務協力の第1弾として2000年6月1日より中京地区において、両社が所有し活用中の運転診断バス(安全運転適正度測定機器類などを搭載した安全運転指導バス。企業の希望により派遣し、自動車事故防止に向け活用いただいているもので、呼称は大東京火災の「安全急行号」千代田火災の「自動車安全サービスカー」)の相互利用を開始することとなりましたのでお知らせします。運転診断バスの相互利用は、今後中京地区から順次展開地区を拡大してまいります。

#### 相互利用の目的

(1)両社とも中京地区には各1台のバスを配備していますが、両社のバスを相互利用することで、お客様の派遣希望日が重複した場合でも要請に応えることが可能となること。

(2)両社のバスの機能は同一ではないため、(両社のバスの概要は下記を参照して下さい)両社のバスを相互利用することにより、従来から派遣を受けて安全運転診断をしていただいていた企業には新しいメニューの提供が可能となること。

この取り組みにより、2001年4月の合併に向けた両社の協力体制がより強固なものとなるだけでなく、自動車保険を主力商品とする両社の合併の具体的メリットを早期にお客様に提供することが可能となります。

さらに、企業の事故軽減ノウハウの構築などにより、顧客ニーズに応える一層のサービス強化に取り組んでまいります。

#### 《両社のバスの特徴》

大東京火災＝「安心急行号」

(1)ドライブシミュレータ…市街地を模擬運転しながら危険体験学習と運転状況を診断

(2)Aテスター3台…ゲーム感覚で3種(ブレーキ反応、タイミング感覚、状況判断力)診断。オリジナル開発診断機

(3)視力計…運転に重要な動体視力も測定・診断

千代田火災＝「自動車安全サービスカー」

(1)危険予知能力診断システム「予知郎」3台…モニターに映し出される実車映像の危険個所をタッチすることで危険予知能力を診断。即座に打ち出される診断結果は個人用と企業向け一覧表を用意

※ 上記のような派遣先で実施する診断に加え、別途安全運転管理状況診断(アンケートで車両管理、補償能力等の評価と提案を実施)もオプションで用意しております。

以上